

相談事例

ID : 02-03-033

相談タイトル

自宅（住宅）の各所リフォームの進め方について

Q：ご相談内容

- ・住宅内部床の段差解消、廊下の手摺り設置、洗面流しの漏水改修等、改修しなければならない箇所が多くあるが、何からリフォームしたらよいかかわらないのでアドバイスしてほしい。
- ・設備関係のリフォームは設備の専門業者に頼むことが良いのか、建築業者に他の箇所と併せ一式依頼した方が良いのか。
- ・床段差解消や壁手摺り設置など、床や壁の下地の状況が影響する改修があるが、事前に下地の腐食などの状況を確認しておく必要があるか。

A：回答

- ・何からリフォームしたら良いかについては、生活されている中で、最も機能的に不便や不経済と感じられているところを優先してリフォームされることが良いと考えます。
- ・設備関係リフォームの工事発注方法については、ひとつには工事のボリューム（ウエイト）により、設備専門業者に直接発注すべきかの判断を行うものと考えます。工事費の経済性を最優先されるなら、設備業者及び建築業者から見積もりを徴取し、比較検討されたほうが良いと思います。工事内容ごとに別々の業者とやり取りをするのが面倒と考えられるのであれば、建築業者にトータルで頼んでもよいと思います。
- ・床や壁の下地状況を確認する必要性については、施工場所の近くに床下点検口など、容易に床下を確認できる状況であれば、点検を行うことに越したことはありませんが、現在の床（壁）仕上げを壊さないと確認できないようであれば、現在の仕上材の沈みやゆがみ、軋みなどの状況確認だけで良いのではないかと考えます。